

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第4号）のトピックス

- ・46週(11月15日～21日)のインフルエンザ患者報告数は 143人、
定点当たり 0.51人（昨年同期 定点当たり 24.63人）
- ・インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は2件
- ・北海道と宮崎でインフルエンザ定点当たり患者報告数1人を超える

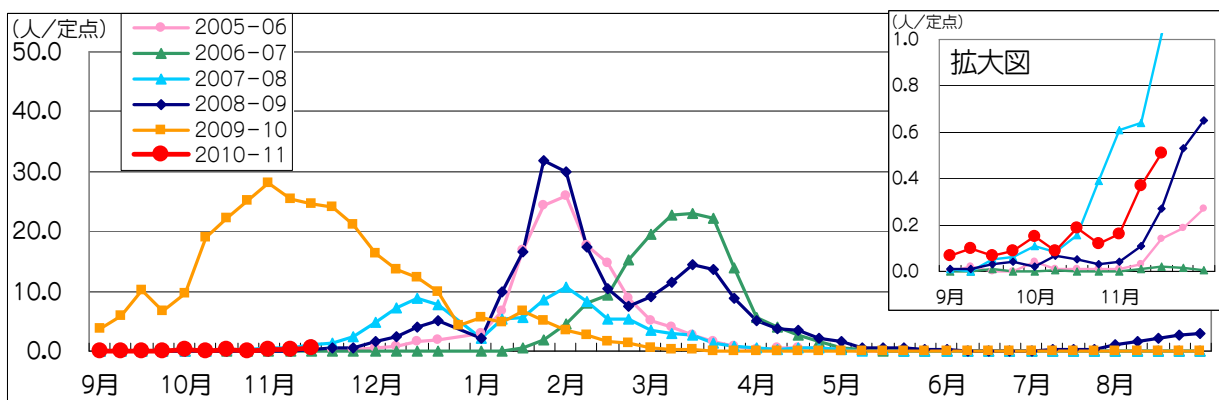


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移（東京都）

1 インフルエンザ患者発生状況

第46週（11月15日～21日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は143人、定点当たり0.51人と45週（0.37人/定点）から微増しました（図1）。今週も昨年ほどではありませんが、例年に比べて少し高い値になっています（昨年同期24.63人/定点）。荒川区(3.25人/定点)、墨田区(2.83人/定点)、多摩小平(1.21人/定点)、八王子市(1.20人/定点)、品川区(1.10人/定点)の5保健所管内で流行の目安となる定点当たりの患者報告数1人を超えています。

【全国】患者報告数は1,684人、定点当たり0.35人です。全国も45週(0.25人/定点)から微増しています。北海道(2.08人/定点)と宮崎

(1.02人/定点)で定点当たりの報告数が1人を超えています。

2 インフルエンザ集団感染等発生状況

46週にインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例が2件（内訳；幼稚園・保育園2）報告されました。

46週にはインフルエンザと診断され重症化した患者の報告はありませんでした。

3 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から、45週に新型インフルエンザウイルス(AH1pdm)が2件、AH3亜型(A香港型)が8件検出されました。46週にはAH1pdmが1件、AH3亜型が3件、B型が2件検出されました(表1、図2)。

また、定点医療機関以外から搬入された検体の検査では、46週にAH3亜型が2件検出されました(図3)。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

43週から46週（10月25日～11月21日）までのインフルエンザウイルス検出状況を型別地域別にみると、4保健所管内からAH1pdm、9保健所管内からAH3亜型、2保健所管内からB型が報告されています（図4）。また、型別検出割合ではAH3亜型が76%と最も多くなっ

ています（図5）。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報（IASR）等によると、11月25日までに、24都府県からAH1pdm、28都道府県からAH3亜型、6都県からB型が報告されています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	AH1pdm
36-42週(9/6-10/24)	126	10	0	7	1	2
43週(10/25-31)	30	3	0	2	0	1
44週(11/1-7)	17	3	0	3	0	0
45週(11/8-14)	34	10	0	8	0	2
46週(11/15-21)	26	6	0	3	2	1
合計			0	23	3	6

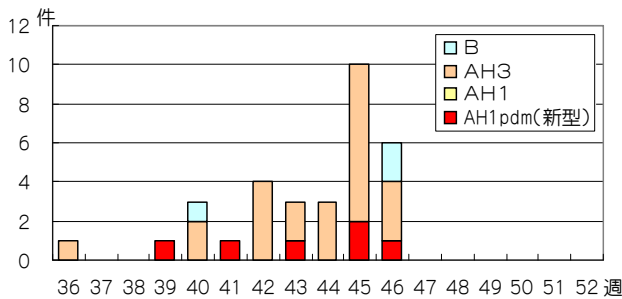


図2. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

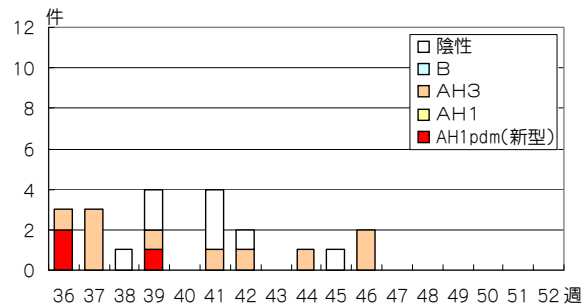


図3. インフルエンザウイルス検出数
(学級閉鎖など定点医療機関以外から搬入された検体)

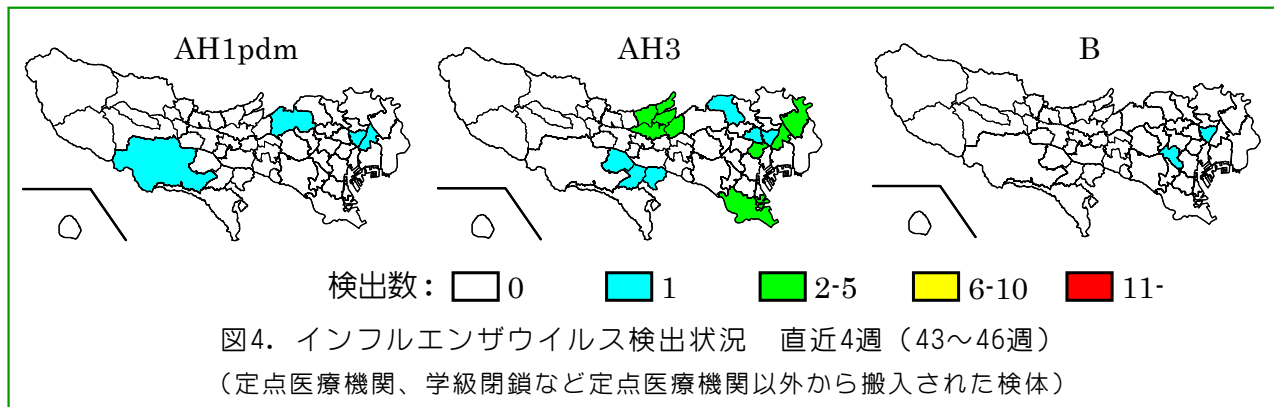


図4. インフルエンザウイルス検出状況 直近4週（43～46週）
(定点医療機関、学級閉鎖など定点医療機関以外から搬入された検体)

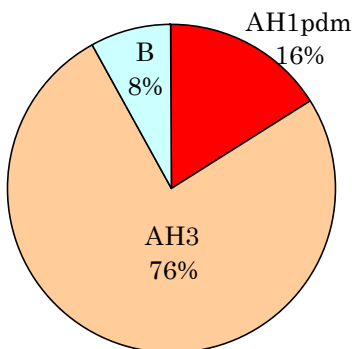


図5. 型別検出割合
直近4週
(43～46週)

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>